

# Scrum

—スクラム—

令和5年3月10日  
通巻第96号  
東京都教育庁指導部  
義務教育指導課

## ●●●12年間、ありがとうございました●●●

教育庁指導部 義務教育指導課長 市川 茂

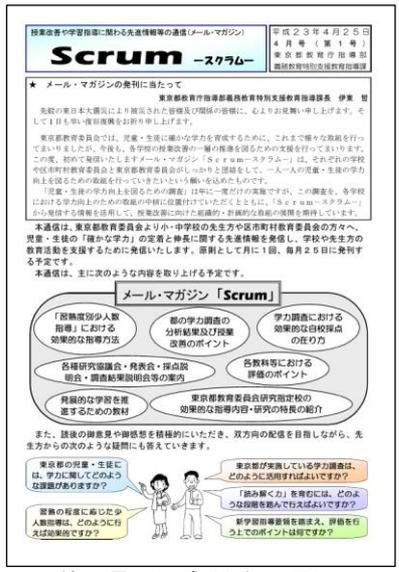
本メール・マガジンは、平成23年4月からの12年間に、計105回（うち9回は臨時号）配信してまいりました。このたび、今後の情報発信の方法等について見直しを図り、今回をもって本メール・マガジンの配信を終了させていただくことになりました。

ここで過去を簡単に振り返ってみたいと思います。平成23年4月の配信開始当時は、児童・生徒の確かな学力の定着と伸長に関する情報を掲載し、各学校での授業改善に生かしていただくことを主な目的としていました。ページ数も現在に比べると、少なかったと記憶しています。平成24年8月以降は、理数教育、道徳教育に関わる内容を加えるなど、当課が所管する教育内容について幅広く情報を掲載してまいりました。また、令和2年5月から令和3年7月にかけて、コロナ禍における教育活動への支援として臨時号を計9回配信いたしました。

これまで、学校の先生方、区市町村教育委員会や教育関係者の皆様をはじめとする大変多くの方に本メール・マガジンを読んでもいただきました。12年間、誠にありがとうございました。

今後は、ページ下に記載したとおり、東京都教育委員会ホームページやTwitter、YouTube等を効果的に活用して、様々な情報を積極的に発信してまいります。

引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



第1号（平成23年4月）

### 掲載内容

- 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」調査結果を活用してみませんか
- 道徳教育の充実に向けて
- 「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための授業力向上セミナー」について
- 理数教育の推進
- 環境教育の充実
- 小学校動物飼育推進校事業
- 令和4年度 就学前教育と小学校教育との円滑な接続に向けた取組

### ★ 当課から情報発信を行うサイト等の御案内

- ・ 東京都教育委員会のホームページ内「学びの支援サイト」  
児童・生徒の学びを支援する情報を紹介しています。

(URL [https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/learning\\_support.html](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/learning_support.html))



- ・ 東京都公式Twitterアカウント 東京都 子供・教育  
東京都の子供施策、教育施策、教員採用に係る情報などを掲載しています。

(URL [https://twitter.com/tocho\\_kyoiku](https://twitter.com/tocho_kyoiku))



- ・ YouTube内「義務教育指導課チャンネル」  
義務教育指導課の事業についての動画等を掲載しています。

(URL <https://www.youtube.com/channel/UC0dZqHZ8PVXmLFmMYKDBC4A>)



# 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」調査結果を活用してみませんか

今年度の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果を基に、以下の資料を作成いたしました。学力向上に向けて、御活用くださいますようお願いいたします。

## 1 令和4年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」東京都全体の調査結果（令和4年9月）

◆ **令和4年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」調査結果の活用について**  
都調査の概要や具体的な調査結果の活用事例等についてまとめた資料です。

こちらで紹介している児童・生徒に返却する「個人票」を活用した取組や組織的な授業改善の推進につながる取組を参考に、次年度に向けて、自校の結果等の具体的な活用方法を検討してみませんか。



◆ **令和4年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」東京都全体の調査結果**

児童・生徒調査の結果、学校調査の結果、主な調査項目間のクロス分析等について、都全体の結果をまとめた資料です。

巻末の調査項目一覧や学校が着目する項目についての結果を手掛かりとして、研修会等で活用してみませんか。



**令和4年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」調査結果の活用について**

1 調査の目的  
調査の目的は、生徒の学力向上を図るための調査及び学校の改善の方向性を明らかにし、調査結果を基に、各学校の授業改善や学校全体の改善等に活用することです。

2 調査の対象とする学校  
調査の対象とする学校は、東京都内の公立小学校、公立中学校、私立小学校、私立中学校（合計）です。

3 調査の対象とする児童・生徒  
小学校4年生から6年生までの児童、中学校1年生から3年生までの生徒、私立小学校4年生から6年生までの児童・生徒です。

4 調査内容・調査方法  
調査内容は、児童・生徒の学力向上を図るための調査、学校の改善の方向性を明らかにするための調査、学校の改善の方向性を明らかにするための調査です。

5 調査実施期間  
児童・生徒調査：令和4年9月15日（月）～9月24日（水）まで  
学校調査：令和4年9月24日（水）～9月25日（木）まで

6 調査に回答した学校数及び児童・生徒数

調査項目	学校数	児童・生徒数
小学校	1,277	87,592
中学校	523	72,212
合計	1,800	159,804



## 2 保護者向け資料「保護者の皆さんへ お子さんの学力向上のために大切なこと」（令和4年12月）

調査結果を踏まえ、児童・生徒の学習や生活について家庭で取り組んでほしいことを紹介しています。児童・生徒の学力向上のため、学校と家庭で協力し、一層の御支援をお願いいたします。



**2 学習の進め方と授業の理解の程度との関係**

令和4年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」児童・生徒調査の結果から

次のように学習を進めている児童は、授業の内容を分ると感じる傾向がみられます。

- ◆ 大切な言葉や公式などは、筆を止めて読んでみるようにしていることと授業の理解の程度との関係
- ◆ 問題を考え合わせるときに、答えが合っているかどうかだけでなく、その問題の考え方をめぐるようにしていることと授業の理解の程度との関係

大切な言葉や公式などは、筆を止めて読んでみるようにしていることと授業の理解の程度との関係

科目	国語	社会	算数	理科
筆を止めて読んでみる	80.4	76.1	79.1	76.1
筆を止めて読んでいない	79.1	76.1	79.1	76.1

問題を考え合わせるときに、答えが合っているかどうかだけでなく、その問題の考え方をめぐるようにしていることと授業の理解の程度との関係

科目	国語	社会	算数	理科
考え方をめぐる	80.4	76.1	79.1	76.1
考え方をめぐるでない	79.1	76.1	79.1	76.1

その学習の進め方から、授業の内容を分ると感じる傾向がみられます。

家庭で学習するとき、大切な言葉や公式の理解を深めて読んでみるようにすることで、授業の理解の程度が高くなる傾向がみられます。

次のページからは、お子さんが、効果的な学習の進め方を身に付けられるように、家庭で取り組むことができる支援の例を紹介します。

**4 お子さんの学習を家庭で支援する取組例 算数**

令和4年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」児童・生徒調査の結果から

次のように学習を進めている児童は、授業の内容を分ると感じる傾向がみられます。

家庭で学習するとき、大切な言葉や公式の理解を深めて読んでみるようにすることで、授業の理解の程度が高くなる傾向がみられます。

次のページからは、お子さんが、効果的な学習の進め方を身に付けられるように、家庭で取り組むことができる支援の例を紹介します。

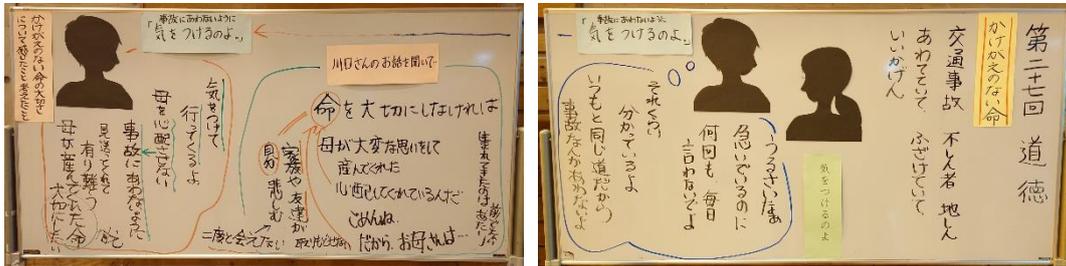
# 道徳教育の充実に向けて

子供たちに「よりよく生きるための基盤となる道徳性」を着実に養っていくには、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を組織的・計画的に推進することが大切です。要である道徳科を中心に、道徳教育の更なる充実を図っていきましょう。ここでは、東京都道徳教育推進委員による授業公開と参加者による協議を行う「特別の教科道徳」授業力向上セミナーと、道徳科の指導や道徳教育の充実に向けて活用できる教材・資料を紹介します。

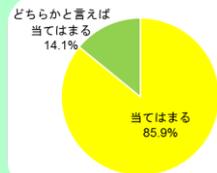
## 令和4年度「特別の教科 道徳」授業力向上セミナーについて

### 「特別の教科 道徳」授業力向上セミナー（小学校）第3回の授業の概要：第5学年

- 【主 題 名】 「かけがえのない命」（内容項目 D 生命の尊さ）
- 【ね ら い】 母からの言葉を受けた信行（登場人物）の思いを考えることを通して、たった一つのかけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てる。
- 【教 材 名】 「気をつけるのよ」（「東京都道徳教育読み物資料集」東京都教育委員会）
- 【主な工夫点】 教材の序盤と終盤に母親が信行に「気をつけるのよ」と伝える場面があり、初発問と中心発問は、母親の「気をつけるのよ」を聞いたときの信行を自分の事として考えさせるように発問を構成した。発問を精選し、児童の話し合う時間をしっかりと取ることにより、自己の考えを深められるよう工夫した。



令和4年度のセミナーは小・中学校それぞれ3回、合計6回実施し、合計261名の先生方の参加がありました。小学校のアンケート（回答数142）の「道徳科の授業改善等について理解を深めることができた。」の項目では、「当てはまる」、「どちらかと言えば当てはまる」の肯定的な回答が100%となり、充実したセミナーを行うことができました。本セミナーは令和5年度も開催する予定です。各学校からの積極的な御参加をお待ちしております。



## 指導の効果を高めるための工夫について

### 【「生命の尊さ」関連教材】

学校が重点を置く内容項目の指導時間数を増やして、繰り返し取り上げたり、複数回に渡って実施したりすることで、道徳科の指導の効果を高めることができます。また、学年間や校種間での連携を図り、計画的、発展的な指導などを行い、子供たちの豊かな心を育てていくことが大切です。右の表は、内容項目「生命の尊さ」に関連する教材をまとめたものです。道徳科の指導の充実に向けて、御活用ください。

小低	<ul style="list-style-type: none"> <li>● つながるいのち（東京都道徳教育読み物資料集）</li> <li>● ようこそ はな子さん（東京都道徳教育郷土資料集（第2集））</li> <li>● いのちって あたたかい（東京都道徳教育教材集「心あかるく」）</li> </ul>
小中	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 三河島をつる（荒川区）（東京都道徳教育教材集「心しなやかに」）</li> <li>● ライオンの赤ちゃん ハナ（東京都道徳教育読み物資料集）</li> <li>● いのちをかがやかせよう（東京都道徳教育教材集「心しなやかに」）</li> </ul>
小高	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気をつけるのよ（東京都道徳教育読み物資料集）</li> <li>● 生命の尊さを感じて、精いっぱい生きる（東京都道徳教育教材集「心たくましく」）</li> </ul>
中	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「生まれて来てくれて、ありがとう」 - 助産師からのメッセージ（東京都道徳教育教材集「心みつめて」）</li> <li>● 焼けた空（東京都道徳教育教材集「心みつめて」）</li> <li>● かけがえのない生命を大切にしよう（東京都道徳教育教材集「心みつめて」）</li> </ul>

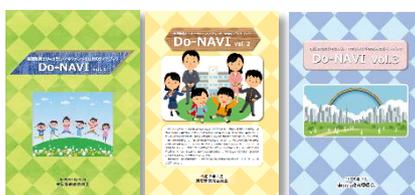
## 資料活用の御案内（以下の資料は東京都教職員研修センターウェブページの教員専用ページ内に掲載）

### 道徳科校内研修ノート



「別葉」の作成や道徳科の指導の工夫等、道徳教育の幅広い内容について、理解を深めるために校内研修で活用できる演習型形式のテキストです。

### 道徳教育カリキュラム・マネジメントのためのガイドブック



学校の教育活動全体で取り組む道徳教育の考え方、モデル校の実践事例、教科等と道徳教育を関連付ける例などの紹介をしています。

## 「生徒の英語によるパフォーマンスを高めるための授業力向上セミナー」について

外国語科においては「実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を授業の中心とする」、「即興で話す力を育成する」など、授業改善を図っていくことが求められています。

本セミナーでは、授業改善に向けて、授業実践に基づく指導事例の紹介などを行い、今年度は全3回で延べ350名の先生方に御参加いただきました。ここでは、1月に実施した第3回の内容について紹介します。

### 第3回セミナーの発表から（葛飾区立立石中学校 河野 光志 主幹教諭の実践）

令和5年1月25日

「学習の見通しと振り返り」、「話すこと [発表]」をテーマに、生徒がメモを基に即興で発表することができるようになることを目指した指導事例の紹介がありました。

#### ◆ 学習の見通しと振り返りに関する工夫

単元の第1時には、単元末に行う言語活動と同様の活動に取り組みさせることで、**単元のゴールを意識**させます。その後、下の表にあるとおり、**単元を通じて繰り返し言語活動に取り組みさせる**ことで、生徒がまとまりのある内容を話せるようにしています。また、指導の過程で**ペア・グループワークを通して生徒が自ら発信する場面を多く取り入れる**ことで、積極的に英語でやり取りできるようにしています。

#### ◆ 「話すこと [発表]」の指導例

単元の目標	
日本に滞在している外国の人々に、身近なものの使い方・身近なことのやり方を理解してもらうために、話したい内容を簡単なメモにまとめ、説明したり自分の考えを話したりするなど、まとまりのある内容を話すことができる。	
時間	各時間の内容
1	生徒に単元の目標を理解させる。 ※ UD: ユニバーサルデザイン 教科書にある UD 製品について既習事項を活用して即興で <b>説明</b> → メモを基に <b>説明</b>
2～4	身近なものについて即興で <b>説明</b> → メモを基に自分の考えや感想をペアで相互に <b>説明</b>
5～7	身近なもの・こと、教科書本文の内容 (UD の歴史) についてメモを基に <b>説明</b>
8	身近な UD (製品、施設) を調べ、興味をもったものについて発表用スライドと説明メモを作成
9	第8時で作成したスライドを用いて、ペア・4人グループで相互に <b>発表</b>
後日	パフォーマンステスト (プレゼンテーション形式での <b>発表</b> ) を通じて評価

	開催日・授業者	テーマ
第1回 セミナー	令和4年6月29日 中野区立中野東中学校 井上 智絵 指導教諭	「書くこと」における指導と 評価の実際
第2回 セミナー	令和4年12月20日 渋谷区立松濤中学校 橋本 晋作 主幹教諭	「話すこと [やり取り]」、 デジタル教科書・ICT の活用

※ 第1回については、スクラム第95号も御覧ください。

[https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/document/mail\\_magazine\\_scrum.html](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/document/mail_magazine_scrum.html)

※ 第2・3回には、講師として文部科学省初等中等教育局教育課程課

外国語教育推進室 入之内 昌徳 教科調査官をお招きし、御指導いただきました。



本セミナーは令和5年度も開催する予定です。各学校からの積極的な御参加をお待ちしております。

<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/document/global/>

※ こちらのリンクより、指導の参考となる資料を御覧いただけます。



## 理数教育の推進

### 東京都小学生科学展

全都の理数好きの小学生が、自ら決めたテーマを深く研究することで理数についての資質・能力を高め、その成果を発表することを通して、理数好きの児童を更に増やすことを目的として開催しています。平成27年度から開催し、今年度で8回目の開催となりました。

- 実施日：令和5年1月6日（金曜日）から  
令和5年1月9日（月曜日・祝日）まで
- 会場：日本科学未来館
- 出品数：65点
- 来場者数：1,144人
- 来場者の声



- ・どの発表も自分の疑問からスタートして、解決方法も自分で工夫しながら進めているところが素晴らしかったです。実験も一度で終わるのではなく、複数回行って平均をとるなど、より確かなデータを集められていることに感心しました。
- ・我が国の科学技術の発展に大きく寄与していると思いました。

令和4年度の出展作品は、東京都教育委員会のホームページに掲載しています。研究の参考に御活用ください。

[https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/science\\_exhibition.html](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/science_exhibition.html)



### 中学生科学コンテスト

東京都内の中学校等に在籍する生徒が理科・数学等の能力を競い合い切磋琢磨する場を提供することで、理科・数学等に対する意欲・能力を更に伸ばし、科学好きの生徒の裾野を広げることを目的としています。



- 実施日：令和4年7月30日（土曜日）
- 会場：武蔵野の森総合スポーツプラザ
- 対象：都内中学校第1・第2学年の生徒（令和4年度：148チーム427人が参加）

中学生科学コンテストについて、東京都教育委員会のホームページに掲載しています。

[https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/science\\_contest.html](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/science_contest.html)



### 東京ジュニア科学塾

未来の科学技術を担う人材を輩出するため、東京都内の公立小学校等の第6学年児童、公立中学校等の第1学年及び第2学年の生徒を対象に、科学に関する専門家等による指導を行う「東京ジュニア科学塾」を年3回開催しました。

第1回 数学分野	日時	令和4年10月23日(日曜日)14時から16時まで
	講師	筑波大学・大学院システム情報系情報工学域 教授 三谷 純 先生
	内容	「折り紙の科学 ～ふしぎな曲線折り紙の世界～」
第2回 地学分野	日時	令和4年12月11日(日曜日)14時から16時まで
	講師	自然科学研究機構国立天文台 上席教授 渡部 潤一 先生
	内容	「地球外生命はいるか？～天文学からのアプローチ～」
第3回 生物分野	日時	令和5年2月12日(日曜日)14時から16時まで
	講師	国立科学博物館 名誉研究員 窪寺 恒己 先生
	内容	「海の生物たちの多様性 –プランクトンからダイオウイカまで–」

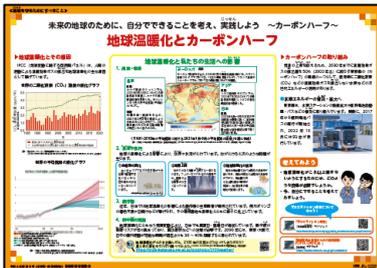
## 環境教育の充実

「中学校学習指導要領解説」及び「高等学校学習指導要領解説」の一部改訂により、脱炭素社会の実現等に関する記述が追加されました。学校教育においても、「脱炭素」という世界共通のゴールに向けて、自然環境や地球規模の諸課題について理解を深め、自分ができることを考えて具体的に行動することができる児童・生徒を育成する必要があります。

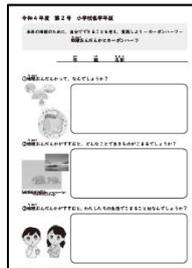
### カーボンハーフスタイル推進資料

児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的として、カーボンハーフスタイル推進資料を作成し、都内公立小学校・中学校・高等学校等に配布しました。

- 第1号 「カーボンハーフ」「カーボンニュートラル」「HTT」
- 第2号 地球温暖化とカーボンハーフ
- 第3号 気象災害とカーボンハーフ



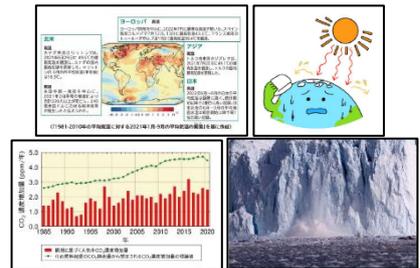
教材



ワークシート



指導資料



図表等

### カーボンハーフスタイル推進教育フォーラム

都内公立学校で環境教育を指導する教員を対象に、都や国における先進的な取組、環境教育の課題や先進事例を共有し、指導の改善・充実を図ることを目的として開催しました。

日時及び会場 令和4年11月24日（木曜日）13時30分から16時30分まで  
たましん RISURU ホール

- 内 容
- 東京都教育委員会からの説明、環境教育実践校発表
  - 関係各局による展示発表 ※環境局、水道局、下水道局、産業労働局
  - 講演 東京大学先端技術研究センター 特任准教授 飯田 誠 先生

「カーボンハーフスタイル推進資料」等の「環境教育」の資料は、東京都教育委員会のホームページに掲載しています。

<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/environment/index.html>



## 小学校動物飼育推進校事業

小学校において児童による継続的な動物飼育を円滑に実施するためには、専門的な知識をもった獣医師等と連携して、児童によりよい体験を与えるための飼育環境や学習環境等を整えることが必要です。そこで、獣医師等との効果的な連携の在り方について検討し、実践する「小学校動物飼育推進校」を指定し、各推進校での成果を全都に普及・啓発しています。

### 令和4年度の小学校動物飼育推進校

墨田区立東吾婦小学校 世田谷区立松沢小学校 中野区立美鳩小学校  
青梅市立河辺小学校 多摩市立連光寺小学校

小学校動物飼育推進校の報告書は、東京都教育委員会ホームページにも掲載しております。

<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/animal.html>



## 令和4年度 就学前教育と小学校教育との円滑な接続に向けた取組

### 就学前教育と小学校教育との接続に関する内容を配信しています

今年度は、「令和4年度就学前教育カンファレンス」及び「令和4年度幼稚園教育研究協議会」での実践発表や講演内容の動画について、以下の内容の動画を作成しました。

動画は、東京都教育庁指導部義務教育指導課のYouTubeチャンネルに掲載しております。園内、校内での研修にも御活用いただける内容ですので、ぜひ御覧ください。

#### ◆ 令和4年度就学前教育カンファレンス

- ・ モデル地区である荒川区、国立市における、就学前教育と小学校教育の円滑な接続に関する取組（中間報告）
- ・ 武蔵野大学教授 箕輪 潤子 先生による講演

#### ◆ 令和4年度幼稚園教育研究協議会

- ・ 豊島区立南長崎幼稚園の取組  
「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ、幼児教育と小学校教育との円滑な接続の推進について
- ・ 清瀬富士見幼稚園の取組  
指導計画の作成、保育の展開、指導の過程の評価・改善について
- ・ 東京家政大学准教授 榎本 眞実 先生による講演



### 荒川区：5歳児から小学校低学年までをひとまとまりとした教育課程の研究・開発及び検証

#### ◆ 荒川区立町屋幼稚園・荒川区立第七峡田小学校における取組

- ・ 幼稚園における幼児の学びの様子をまとめた見取表の作成、小学校への幼稚園の学びの引継ぎ、幼児・児童の共有スペースである「ななはけラボ」を活用した保育・教育を実施し、実践事例を蓄積していきました。

#### ◆ 荒川区就学前教育と小学校教育との一層の円滑な接続を図るための教育課程の普及・検討委員会

- ・ 荒川区が作成した「5歳児から小学校第2学年までの3年間をひとまとまりとした教育課程」を基に、保育者と小学校教員による実践授業と合同の協議会を実施しました。

### 福生市：学びに向かう力の育成に関する内容の研究・開発及び検証

#### ◆ 幼保小連携推進委員会

- ・ 「学びに向かう力」を視点として、就学前施設と小学校との交流活動の内容について検討し、交流活動を計画しました。
- ・ 小学校の教員が就学前施設の保育者から意見を聴いてスタートカリキュラムを作成したことで、子供たちにより即したスタートカリキュラムとすることができました。

#### ◆ 福生市教員研修会兼研究発表会の開催

- ・ 都内教育関係者、保育者、教員に向けて作成した福生市版「幼保小の架け橋プログラム～円滑な接続・連携の促進～」について、市内全教員が参加する研究発表会を開催しました。

### 国立市：教育と福祉の連携による幼児の資質・能力の育成に関する研究・開発及び検証

#### ◆ 国立市幼保小連携推進委員会

- ・ 小学校教員による就学前施設への保育参観と、就学前施設の保育者による小学校の授業参観を行うとともに、就学前施設の保育者と小学校教員による協議を行いました。
- ・ 国立版アプローチカリキュラムの作成に向けて、就学前施設での活動を通じて育んできた力（資質・能力）の整理及び小学校への接続方法の検討を行いました。

#### ◆ スタートカリキュラム研修会の開催

- ・ 小学校教員を対象としたスタートカリキュラム研修会を開催し、モデル校における実践報告、「今求められるスタートカリキュラムとは」をテーマとした講演・演習を行いました。